

お名前 (森山真由子)
習った芸能(大槌虎舞 、 津軽石さんさ)

1) **三陸の芸能を習ってみていかがでしたか？**

すごく楽しかったです。現地の人からのレクチャーだったので、方言や団体の雰囲気を感じながら受けられたので、事前に観た映像とはイメージが違ったりもしました。映像では実際に祭りやステージで踊られるものだったのでピリッとした雰囲気でしたが、習った時の雰囲気はそんなこともなく、その差も面白く感じました。

2) **今回はオンラインでの芸能体験でしたが、率直にいかがでしたか？良かった点、困った点をお聞かせください。(応募、事前準備、受講のことなど)**

オンラインは音や映像の時差もあったので、実際に習うのと比べたらやはりやりづらかったし、特に物足りなさは感じました。あと芸能の難しいところは、虎の頭や装束のようになかなか実物や、それに近い物を用意できないところにあるなと思いました。振付を覚えることはできても、実際に虎頭を被ったらもっと感覚が違うと思うし、装束は動きづらいららうな、と想像しながら受けるかたちになっていたなと思います。

3) **受講をされて、ご自身のアーティスト活動において、どのような影響、意味があると思われましたか？**

私自身も普段から伝統芸能を踊ったり芸能を受け継ぐ活動に参加したりしていますが、若い世代と一緒に活動してくれる人がなかなか増えないのが現状で、それは地域だけの問題ではないことを強く感じました。もっとダンスやアートを日常生活の中に取り入れる根本的な考え方や機会をつくっていかねばいけないと思います。

4) **今後も三陸の郷土芸能を習いたい、通いたいと思われたときに、AIR以外にどのような方法や制度があると良いと思われますか？**

もっと定期的に行うクラスがあったら良いと思います。まず目にしたり踊りに触れる機会があまりにも少ないのが現状だと思います。また、郷土芸能は西洋のものに比べると習いにくい、と感じます。身体的にメソッド化していない点や、振付けの細かいところを言語化や記録していない点などから、「習得」や「伝達」をするのが極端に難しいと感じます。それがクリアになるとまず広まり方が変わってくるのではと思います。

5) **上記以外にご意見やご感想がございましたら、自由にお書きください。**

ぜひ、三陸の郷土芸能に会いに来てください。ご協力ありがとうございました。